

先進医療一覧

先進医療とは、国が認めた「最先端の医療技術」を、国が定めた医療機関で受けられる特別な治療や検査のことで、安全性や有効性を確認し、今後の保険適用を目指している段階の医療です。

先進医療は健康保険の対象外となるため、その費用は全額自己負担となります。また、通常の保険診療との併用が可能です。

当院では、以下の先進医療を受けることができます。

令和7年10月1日現在

	先進医療の名称	実施診療科
1	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	眼科
2	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	眼科
3	術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	消化器外科・腫瘍内科
4	多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断	血液内科
5	術後のアスピリン経口投与療法	腫瘍内科・消化器外科
6	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	呼吸器外科・放射線科・腫瘍内科
7	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術	眼科
8	シクロホスファミド静脈内投与療法	血液内科
9	経皮的前立腺がんマイクロ波焼灼・凝固療法	腎臓外科・泌尿器科
10	腹腔鏡下卵巣悪性腫瘍手術	産科婦人科

先進医療は、希望された場合でも患者さんの病状に応じて、適応が異なります。詳しくは、主治医までご相談ください。

また、民間の「先進医療保険等」にご加入の方は、費用が補償される場合がありますので、ご加入の保険会社へご確認ください。

（文責：医事課）



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025大分」に参加します！

リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやご家族を支援し、がん征圧をめざすチャリティー活動です。1985年、アメリカで一人の医師がトラックを24時間走り続け、「対がん協会」への寄付を募ったのが始まりです。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためだったそうです。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、今では世界1800ヶ所で開催されています。

日本でも2006年に始まり（大分は2008年から）、全国各地で実施されています。参加費が対がん協会に寄付され、薬剤の開発や若手医師の育成などに使われています。

当院は、「大分大学医学部附属病院チーム」として、医療従事者、事務職員、学生、職員の家族が参加しています。また、当日は、会場のテントでバザーなどのイベントも行っています。

当院通院中の患者さん・ご家族の皆さま、当日参加も可能です。お越しの際は、ぜひ一緒に歩きましょう！



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025大分

日 時：10月25日（土）14時～10月26日（日）10時30分

場 所：大分スポーツ公園 大芝生広場

参 加 費：一人500円（がん患者さん・高校生以下無料）

（チームキャプテン：腫瘍センター長 大津 智）

（文責：がん相談支援センター看護師長 古田 佳代子）

大分大学医学部50周年 ～寄附のお願い～

大分大学医学部の前身である大分医科大学は、昭和51年（1976年）10月に新設医科大学として開学しました。平成6年に看護学科を設置し、平成15年には旧大分大学と統合し大分大学医学部となりました。さらに令和5年に先進医療科学科を設置し、令和8年（2026年）に創立50周年の節目を迎えます。

この50年の間、学生に対し、最新の学術の教授・研究、高度な知識と技術及びそれらの本義を見失わない道徳観と豊かな教養を身に付けるよう育成を行い、大分県下をはじめ国内、さらには海外に多くの優秀な医療人並びに研究者を輩出してまいりました。

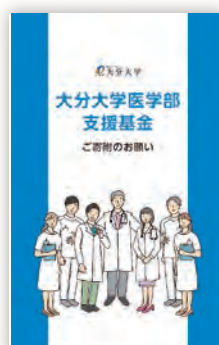
これからも「地域に根差し」、「世界を目指す」大学として一層の発展を遂げるため、「未来志向型医療人材の創出」をスローガンに掲げ、医学部創立50周年記念事業を計画しており、「医学部支援基金」を募集しております。本事業においては、次の世代へより充実した教育、研究環境を提供するとともに、地域への貢献にも活用していく所存です。

私たちは、次の50年も大分県の医療を支える拠点としてさらなる飛躍を目指し、これまで支えてくださった全ての方々への感謝を胸に、一層邁進していきます。

「医学部支援基金」は、病院内各所に設置したリーフレットの振込用紙のほか、右のQRコードからご寄附いただけます。

みなさまの温かい支援を賜りますようお願い申し上げます。

（文責：経営戦略課長 蛭川 哲男）



医学部創設50周年記念事業

医学部・病院の環境整備

高度医療・先進医療の提供・社会貢献

医療人の育成

こちらのQRコードからもご寄附いただけます



紹介状・診療情報提供書の料金について

当院では、患者さんの症状が安定した場合、かかりつけ医等への逆紹介を行っております。

診察終了後、診療内容や今後の治療方針等について、本院の主治医から、かかりつけ医等の紹介先や紹介元の先生へ「紹介状・診療情報提供書」を作成し、後日、郵送させていただいております。

その場合、主治医からの発送完了後に、別途「紹介状・診療情報提供書」の料金（「診療情報提供料」）をご連絡しますので、ご理解とお支払いへのご協力をお願いします。

なお、「診療情報提供料」は保険適用となるため、3割負担の方で750円となりますが、提供する内容と患者さんの負担割合によって異なりますので、あらかじめご了承ください。



	3割負担	2割負担	1割負担
診療情報提供書 1	750円	500円	250円
診療情報提供書 1 (退院後3ヶ月以内、 検査結果・画像あり)	1350円	900円	450円
診療情報提供書 2 (セカンドオピニオン)	1500円	1000円	500円
連携強化診療情報提供料 (かかりつけ医等への報告)	450円	300円	150円

(文責：医事課)

地域の医療機関とつながる！ ID-linkをご存知ですか？

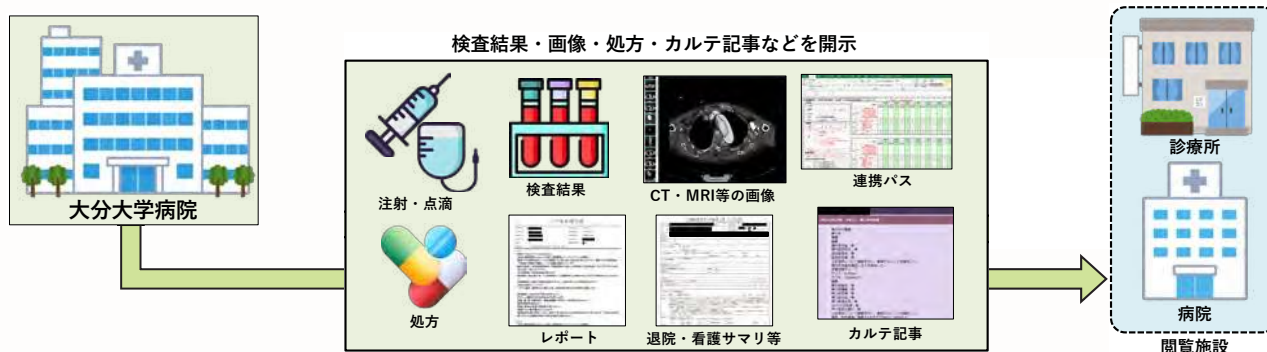
当院では、より良い地域医療をめざし、地域医療連携サービス「ID-link」を導入しています。当院と連携する地域の医療機関（かかりつけ医など）の間で、診療情報を安全に共有するための仕組みです。

- 当院で受けた検査の結果や、処方薬の情報、医師や看護師のカルテ記載、紹介状などを、他の医療機関とすぐに共有できます。
- 検査の重複を防いだり、病状や治療方針のより詳細な共有が可能となり、地域の医療機関を含めたチームとして質の高い医療の提供につながります。
- ネットワークに参加している医療機関と情報を共有することができます。参加医療機関はホームページで確認できます。

ご利用にあたって

ID-linkは、患者さんの同意のもと、指定された医療機関とだけ情報を共有するサービスです。利用の際は同意書のご記入をお願いします。患者さんの金銭ご負担はありません。利用を希望される方、ご質問がある方は、お気軽に当院スタッフまでお問い合わせください。

(文責：大分大学医学部附属病院 医療情報部 松田 浩幸)



病院機能評価（第三者評価）の認定について

このたび本院は、病院の第三者評価機関である公益財団法人 日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:Ver3.0）の更新審査を受審し、機能種別「一般病院3」及び「副機能精神科病院」について、認定を受けました。認定期間は、2025年2月7日から2030年2月6日までの5年間です。

病院機能評価は、病院が提供する医療や組織運営について、第三者評価機関が中立的な立場で評価する制度であり、患者が安心・安全に医療を受けられる環境を整備することを目的としています。

本院が認定を受けた「一般病院3」は、特定機能病院が担う役割・機能を踏まえた厳格な評価基準が設定されており、2023年4月に改定されたプログラムでは、特に「病院の組織運営」「医療安全・感染対策」への取り組みが重視されています。

審査は3日間にわたり、「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1」「良質な医療の実践2」「理念達成に向けた組織運営」の4つの領域に設けられた約90項目を対象に、ケアプロセス調査、医療安全ラウンド、カルテレ뷰、テーマ別調査、部署訪問、面接調査、病院幹部面談などの様々な評価手法を通じて、本院の医療サービスが実際にどのように提供・運用されているかの確認が行われ、S評価からC評価までの4段階で厳正に評価されました。

今後とも特定機能病院として、より質の高い医療の提供を目指し、皆様の信頼と期待に応えられるよう職員一丸となって努めてまいります。

〔一般病院3 認定証〕



〔副機能精神科病院 認定証〕



※本院の評価結果の詳細は、(公財)日本医療機能評価機構のホームページに公表されます。

「治験コーディネーターって どんな仕事？」

皆さんは、**治験コーディネーター (Clinical Research Coordinator: CRC)** という職種をご存じでしょうか？ (臨床研究コーディネーターと呼ばれる事もあります。) 最近では、コロナワクチンの開発でニュースになった事もあり、ご存じの方もいるかもしれません。

治験とは、**医薬品の有効**や**安全性**を確認するために行われる臨床試験です。新しい薬の保険適応の許可を厚労省に得るため、必要なデータ収集をします。参加いただく方の安全性を考慮し、以下の3段階に分かれています。

第Ⅰ相試験：健康な方を対象に、主に安全性や体内での薬の動きを調べる

第Ⅱ相試験：比較的少数の患者さんを対象に、有効性と安全性や適切な使用方法を調べる

第Ⅲ相試験：多数の患者さんを対象に、有効性と安全性を確認する

特に、**健康成人を対象とした第Ⅰ相試験**を実施できる施設は全国でも限られており、当院はそのような施設のひとつです。(Clinical Trial Unit：CTUという部署を設置しています。)

CRCは、**患者さんに寄り添いながら、治験がスムーズに進むように様々な調整を行う医療チームの一員**です。治験に参加する患者さんには、**身体的・精神的サポートを提供**し、安心して治験に参加できるように支援します。また、患者さん対応以外にも、治験の進行に伴う**スケジュール管理**や**書類作成・データ入力**など、治験を円滑に進めるためのさまざまな業務を担っています。CRCは患者さんの安全を最優先に考え、医師や医療スタッフと連携しながら、治験が正しく行われるよう支援します。

CRCは、様々な医療分野での仕事になりますので、看護師や検査技師、薬剤師等の医療資格を持った人がほとんどです。治験コーディネーターとして規定の条件で3年以上働けば、臨床薬理学会の**認定CRC**の資格を取る事もできます。



現在当院では、5名（創薬オフィス3名、CTU2名）のCRCが勤務しています。その他外部（治験施設支援機関）からの派遣CRCも院内で支援を行っています。

（文責：総合臨床研究センター 冷川 雅恵）

あなたの**声**を
お待ちしております

良い病院になるために

患者さんの声は、要約して載せておりますので
ご了承ください。



声

5階病棟入院中の患者さんが歩行器と点滴を押して、「公衆電話はどこにありますか？」と1階の時間外受付で問い合わせしていました。せめて各フロアーにあると安心すると思います。

回答

ご意見ありがとうございます。

本院では公衆電話を2～7階（3階は新病棟）のエレベーターホールと正面玄関の外に各1台設置しております。ご利用の際に、設置場所が分からない場合はお近くのスタッフステーションにお声がけください。



声

面会時間15分と制限がありますが、外来で受付した時点からカウントされるのでしょうか。歩行の遅い年配の方は病棟に行くまでに時間がかかると思います。病棟で面会時間を記入してから15分なら理解できます。

回答

説明不足で申し訳ございません。

面会時間は、外来で受付した時点からのカウントではなく、患者さんとの面会開始後からとなります。今後は入院時に説明を行うよういたします。

また、令和7年8月1日より面会時間が15分から30分に変更となりました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



＼ 感謝の声 /

声

2年前に医大で手術をし今では旅行が出来るまでになりました。出発の大分空港で今まで気付かなかった医大のスクリーン広告の“支えたい。あなたの健康と笑顔”の言葉を見て、旅が出来るまでに支えられここまで来たのだと実感し感謝の気持ちが溢れました。

回答

この度は心温まるお言葉をいただき、誠にありがとうございます。

手術を経て旅行ができるまで回復されたとのこと、大変嬉しく思います。今回のご意見で、本院が日々行っている医療活動の意義を改めて感じさせていただきました。

今後も、患者さんの健康と笑顔を支えるために、最善を尽くしてまいります。



（文責：病院長）



大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)
大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

